

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
 <為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
 <為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)
 追加型投信/内外/株式



「世界のベスト」 早わかりガイドブック

世界のベストについてよくあるご質問

Q1	「世界のベスト」はどのようなファンドですか。 P.1
Q2	どのような投資家ニーズに応えることを目指したファンドですか。 P.2
Q3	どこで運用されているのですか。運用体制について教えてください。 P.3
Q4	運用プロセスについて教えてください。 P.4
Q5	分配方針について教えてください。 P.5
Q6	過去の分配実績について教えてください。 P.6
Q7	分配原資とは何ですか。 P.7
Q8	いつまでに購入すれば分配金を受け取れますか。 P.8
Q9	購入や換金の申し込みができない日はありますか。 P.8
Q10	基準価額はいつの時点の市場データを基に算出されますか。 P.8
Q11	ファンドの運用状況などの最新情報はどこで確認できますか。 P.9
Q12	インベスコについて教えてください。 P.10

当資料では、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)」、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)」および「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)」を総称して「世界のベスト」もしくは「当ファンド」という場合があります。また、決算頻度に応じて「毎月決算型」、「年1回決算型」、「奇数月決算型」、為替ヘッジの有無に応じて「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

Q1. 「世界のベスト」はどのようなファンドですか。

- 世界の先進国企業の中から、運用チームが「株式投資の王道」にこだわって、世界のベストと考える銘柄に厳選投資を行うファンドです。
- 「毎月決算型で20年超」の長期の運用実績を誇ります。
- 2023年8月末時点において、「80カ月連続（6年超）での純資金流入*を記録」し、純資産総額は、8,000億円を超える水準まで増加しました。

「世界のベスト」のポイント

「株式投資の王道」にこだわって世界のベストに厳選投資

日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自の視点で厳選した世界のベストと考える銘柄に投資を行います。「成長」+「配当」+「割安」の3つの観点に着目して投資を行うことを、当ファンドでは「株式投資の王道」と考えています。



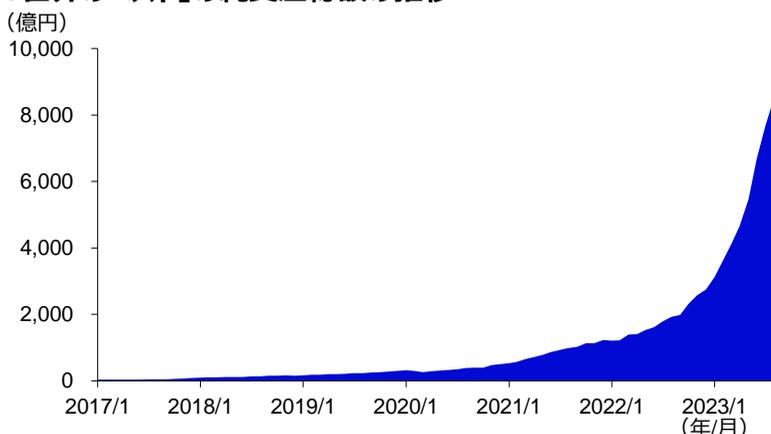
日本において「20年超の運用実績」を誇る世界株式ファンド

「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（毎月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）」は、1999年1月に設定され、2016年9月に決算頻度を毎月決算に変更、2017年1月より毎月分配を行っています。また、「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（年1回決算型）/〈為替ヘッジなし〉（年1回決算型）」は2018年10月に、「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（奇数月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（奇数月決算型）」は2023年9月に設定されました。

※販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

80カ月連続での純資金流入*を記録

「世界のベスト」の純資産総額の推移



純資産総額
8,561億円

(2023年8月31日現在)

* 純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。
80カ月連続は、2017年1月から2023年8月まで（月次データ）。
出所：インベスコ
グラフ期間：2017年1月末～2023年8月末、月次データ
世界のベストの純資金流入および純資産総額データは、〈為替ヘッジあり〉（毎月決算型）、〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）、〈為替ヘッジあり〉（年1回決算型）、〈為替ヘッジなし〉（年1回決算型）の合計です。同データは過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

Q2. どのような投資家ニーズに応えることを目指したファンドですか。

当ファンドは、幅広い世代の投資家の多彩なニーズにお応えするため、決算の回数や為替ヘッジの有り無しなど複数のタイプのファンドをご用意しています。

<為替ヘッジあり>（毎月決算型） / <為替ヘッジなし>（毎月決算型）

毎月の資金受け取りニーズに対応したファンドです。

- 運用を継続しながら、毎月一定水準*の分配金を支払うことで、受益者の資金受け取りニーズに対応するファンドです。
- 分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。ファンドの分配方針に基づき、各期に支払われる分配金は、各期中に発生したファンドの投資収益の範囲内で支払われる場合のほか、投資収益の範囲を超えて支払われる場合があります。
- 各期中に発生したファンドの投資収益の範囲を超えて分配金が支払われる場合は、前期までの繰越分などを加えて支払うことがあります。この場合、当期の分配金支払後基準価額が前期の分配金支払後基準価額と比べて下落します。詳しくは、後述の「収益分配金に関する留意事項」をご確認ください。

* 毎月支払う分配金の水準は、委託会社が分配方針に基づき決定し、一定期間維持することを基本とします。ただし、委託会社は運用状況によりその水準の見直しを行います。また、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

※分配方針については5ページのQ5、分配実績については6ページのQ6をご参照ください。

<為替ヘッジあり>（年1回決算型） / <為替ヘッジなし>（年1回決算型）

長期の資産形成のための運用をお考えの方などにご検討いただけるファンドです。

- 将来のライフイベントや退職後のセカンドライフに向けた備えとして、じっくりと長期での資産形成を目指したいというニーズをお持ちの方などにご検討いただけるファンドです。
- 年1回決算型は、2024年1月1日より開始する新しい少額投資非課税制度（NISA）における「成長投資枠」の対象ファンドとなります。

※分配方針については5ページのQ5をご参照ください。設定来、分配金実績はありません（2023年8月末現在）。

投資経験の面では、 「これから投資を始めようとお考えの方」から「投資ご経験者」まで。

- ① 投資を行う際の基本的な観点ともいえる「成長」、「配当」、「割安」の3つの観点に着目し「株式投資の王道」を実践する世界のベストの運用については、比較的投資初心者の方にもご理解頂きやすく、初めの1歩の選択肢としてご検討いただけるファンドであると考えています。
- ② また、「世界のベスト」は、相対的に欧州の割合が高く、幅広い国・地域および業種に分散されたバランスのとれたポートフォリオを目指した運用を行っていますので、既に投資を始められている方にも、投資資産の分散の選択肢としてご検討いただけるファンドであると考えています。

上記タイプのファンドに加えて、「インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジあり>（奇数月決算型） / <為替ヘッジなし>（奇数月決算型）」が2023年9月に設定されました。* 初回決算日は2023年11月24日の予定です。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

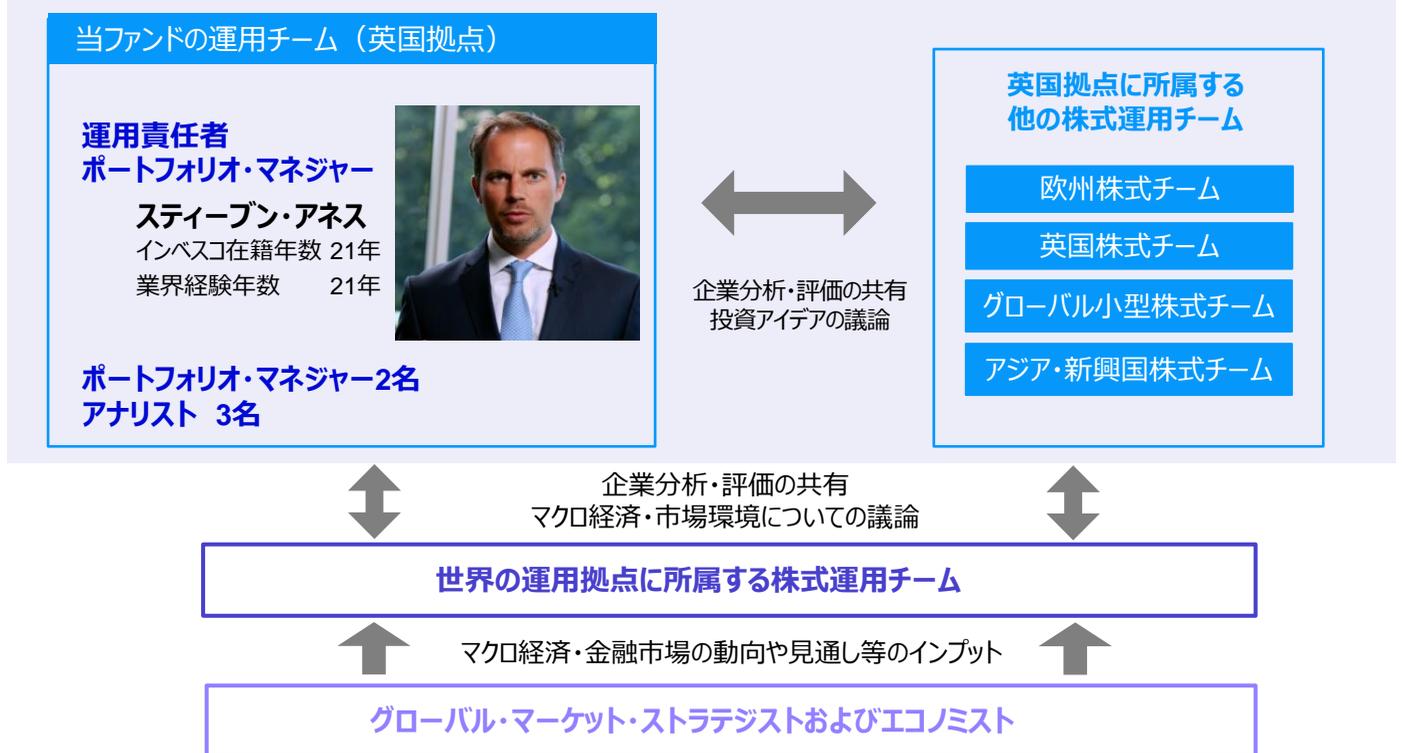
Q3. どこで運用されているのですか。運用体制について教えてください。

当ファンドの運用は、インベスコ※の英国拠点であるオックスフォード近郊のヘンリー・オン・テムズの拠点に在籍する経験豊富な運用チームが担当しています。運用責任者であるポートフォリオ・マネジャーのスティーブン・アネスほか、ポートフォリオ・マネジャー2名、アナリスト3名の運用体制を敷いています。

- 運用チームは、世界の運用拠点との情報共有や議論を通じて投資アイデアを発掘し、徹底的な企業調査・分析・評価を行って投資銘柄を厳選します。
- また、世界経済や金融市場動向に精通するストラテジストやエコノミストの情報も活用し、グループの総力を結集して市場動向をいち早く捉えた柔軟な運用を行います。

※インベスコについては、10ページのQ12をご参照ください。

「世界のベスト」の運用体制



出所：インベスコ 2023年6月末現在

運用拠点について



運用チームが拠点を置くヘンリー・オン・テムズは、大都市ロンドンシティから離れた自然に囲まれた閑静な地域にあり、日本の軽井沢のような所です。

都会の喧騒や市場の一時的、短期的な情報から離れた運用拠点で、世界の経済・市場動向を俯瞰し、チーム一体となって運用に集中しています。



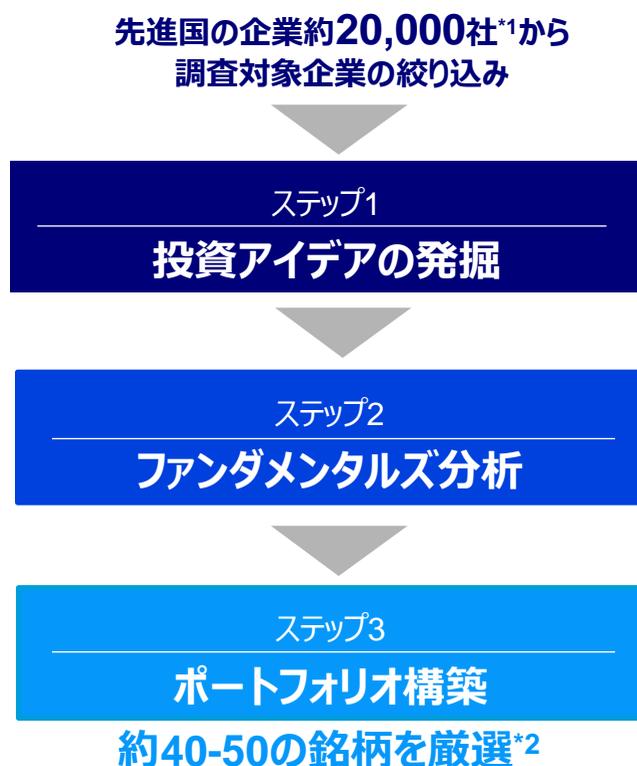
インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

Q4. 運用プロセスについて教えてください。

当ファンドは、投資国・地域や投資テーマ・業種などに特定の制限を設けていません。幅広い投資対象企業の中から、経済状況や市場環境の変化をいち早く捉えた投資アイデアに基づき、株式投資の王道にこだわって、確信度の高い銘柄だけに厳選投資を行います。

- 世界の先進国企業約20,000社から、投資アイデアの発掘、企業調査や評価・分析などファンダメンタルズ分析を経て、約40-50銘柄を厳選して投資を行います。
- 銘柄の厳選においては、ビジネスの競争優位性、財務健全性等に対する分析や経営力、および株価の適正水準などの評価を行い、1つ1つの銘柄を丁寧に選ぶボトムアップ・アプローチによって企業の見極めを行っています。

「世界のベスト」の運用プロセス



*1 出所：WORLD FEDERATION OF EXCHANGES。2023年7月末現在。

先進国の企業数は以下の証券取引所の上場企業数を合算することにより21,181社と算出。当数字は、以下の各証券取引所の上場企業数を合計したものであり、重複上場を考慮していません。

北米: NYSE、Nasdaq、TMX Group。アジア太平洋: ASX Australian Securities Exchange、Hong Kong Exchanges and Clearing、Japan Exchange Group、Singapore Exchange。欧州: Euronext、BME Spanish Exchanges、Deutsche Boerse AG、LSE Group。

*2 ポートフォリオの銘柄数は運用状況に応じて変わります。

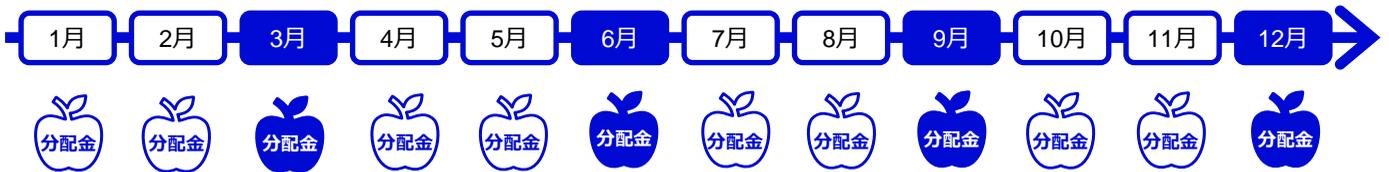
上記運用プロセスは、2023年6月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

Q5. 分配方針について教えてください。

毎月決算型の収益分配方針

- 毎月23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。
 - ・ 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
 - ・ 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。（分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。）
 - ・ 毎年3月、6月、9月、12月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。



年1回決算型の収益分配方針

- 年1回の12月23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に分配を行います。
 - ・ 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
 - ・ 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。（分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。）

奇数月決算型の収益分配方針

- 原則として、奇数月（1、3、5、7、9、11月）の各23日（同日が休業日の場合は翌営業日）の決算日に分配を行います。
 - ・ 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
 - ・ 分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。（分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。）



上記は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

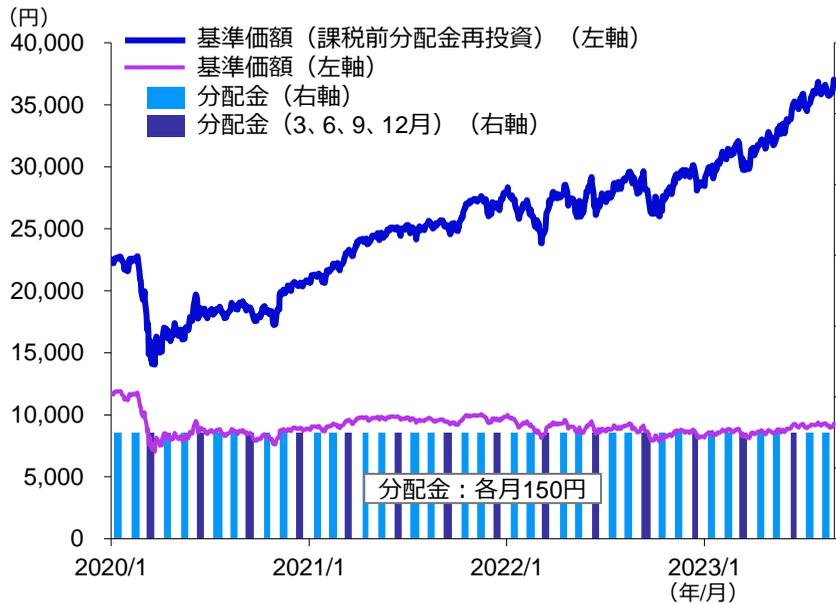
インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

Q6. 過去の分配実績について教えてください。

- <為替ヘッジなし>（毎月決算型）は、コロナ禍においても分配金額の引き下げを行わず、毎月一定水準の分配を行う特色を持つファンドとして、安定的に分配を継続してきました。
 - <為替ヘッジあり>（毎月決算型）についても、安定的な分配を継続してきました。また、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、3月、6月、9月、12月の決算時には、委託会社が決定した額を付加して分配金をお支払いした月がありました。
- ※分配金の水準は見直しが行われることや分配を行わないことがあります。また、設定来の基準価額の推移は11ページをご確認ください。
- 年1回決算型は、2023年8月末時点において分配実績はありません。

<為替ヘッジなし>（毎月決算型）の分配実績（1万口当たり、課税前）と基準価額の推移

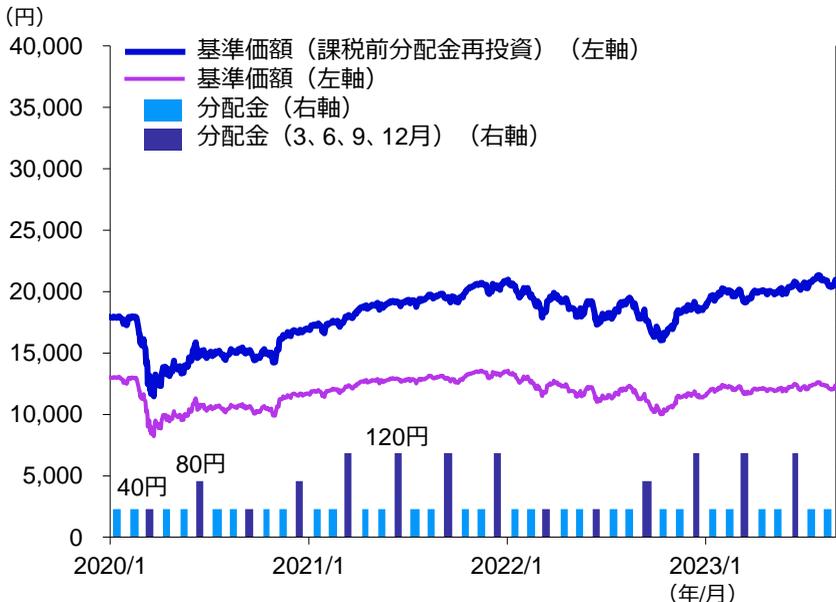
期間：2020年1月4日～2023年8月31日



2023年8月31日現在	
設定来累計分配実績 (1万口当たり、課税前)	15,250円
分配原資（分配対象額） 2023年8月23日現在	8,506円
基準価額と純資産総額	
基準価額	9,267円
基準価額 (課税前分配金再投資)	37,022円
純資産総額	8,146億円

<為替ヘッジあり>（毎月決算型）の分配実績（1万口当たり、課税前）と基準価額の推移

期間：2020年1月4日～2023年8月31日



2023年8月31日現在	
設定来累計分配実績 (1万口当たり、課税前)	6,510円
分配原資（分配対象額） 2023年8月23日現在	7,795円
基準価額と純資産総額	
基準価額	12,385円
基準価額 (課税前分配金再投資)	20,990円
純資産総額	61億円

出所：インベスコ

分配原資（分配対象額）は、分配金落ち後のものです。基準価額は、信託報酬控除後のものです。上記の分配金は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金は投資信託説明書（交付目録見書）記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。後述の「収益分配金に関する留意事項」の内容を必ずご確認ください。上記のファンドに加えて、「インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジあり>（奇数月決算型） / <為替ヘッジなし>（奇数月決算型）」が2023年9月に設定されました。初回決算日は2023年11月24日の予定です。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

Q7. 分配原資とは何ですか。

- 分配原資（分配対象額）は、ファンドの資産のうち分配金として支払うことができる金額を指します。
- 分配原資の額が大きいほど、分配金として支払うことができる上限が高いこととなります。ただし、分配金はファンド毎に定められている収益分配方針に沿って決定されるため、必ずしも分配金が多く支払われるとは限りません。
※5ページのQ5分配方針および14ページの収益分配に関する留意事項をご確認ください。
- 分配原資（分配対象額）は、以下の4つで構成されており、当期の収益以外も含めて算出します。したがって、当期の収益がマイナスであっても、前期までに分配金として支払われなかった分などから支払われる場合や、毎期の収益にかかわらず、一定の水準で分配金の支払いを継続する場合があります。

分配原資（分配対象額）の内訳のイメージ

当期の収益	① 配当等収益	株式やリートの配当収益や債券の利息収入などから経費*を控除したものの
	② 有価証券売買益・評価益	株式やリート、債券などの値上がり益および評価益から経費*を控除したものの
当期の収益以外	③ 分配準備積立金	前回の決算日までにて得た①と②のうち、分配金として支払わなかった分を積み立てたもの
	④ 収益調整金	追加設定（購入）により口数が増えることで、既存の投資家の分配対象額が減少することを防ぎ、投資者間の公平性を保つために設けられたもの

* ファンドの純資産から控除される信託報酬などの費用

上記は、投資信託の分配原資についての一般的な内容を記載したものであり、世界のベストに限定した内容ではありません。

- 🔴 世界のベストの分配原資（分配対象額）は、交付運用報告書の分配金の欄でご確認いただくことができます。交付運用報告書は、インベスコのホームページに掲載しています。※9ページのQ11をご参照ください。

例：毎月決算型の交付運用報告書の表紙



運用経過の項目内の分配金欄

インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）
（2022年12月24日～2023年6月23日）

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況環境などを勘案し、第109期から第114期まで合計で1万円当たり900円（税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

項目	第109期 2022年12月24日 ～2023年1月23日	第110期 2023年1月24日 ～2023年2月24日	第111期 2023年2月25日 ～2023年3月23日	第112期 2023年3月24日 ～2023年4月24日	第113期 2023年4月25日 ～2023年5月23日	第114期 2023年5月24日 ～2023年6月23日
当期分配金	150	150	150	150	150	150
（対基準価額比率）	1.763%	1.716%	1.808%	1.728%	1.684%	1.631%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	150	150	150	150	150	150
翌期繰越分配対象額	7,897	8,089	7,940	8,026	8,244	8,506

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

出所：インベスコ 上記の記載および過去のデータは、将来の成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

Q8. いつまでに購入すれば分配金を受け取れますか。

- ファンドの決算日の2営業日前までに購入のお申し込み*をしていただければ分配金を受け取ることができます。
* 販売会社所定の事務手続きが完了した場合

例：2023年11月

日	月	火	水	木	金	土
11/19	11/20	11/21	11/22	11/23 勤労感謝の日	11/24	11/25
		購入申込受付日	購入価額算出日 (約定日)		毎月決算型の 決算日	

毎月23日が決算日
休日の場合は翌営業日となります。

Q9. 購入や換金の申し込みができない日はありますか。

- 日本の祝日、土曜・日曜、年末年始（12月31日～1月3日）以外、ファンドの休業日はありません。

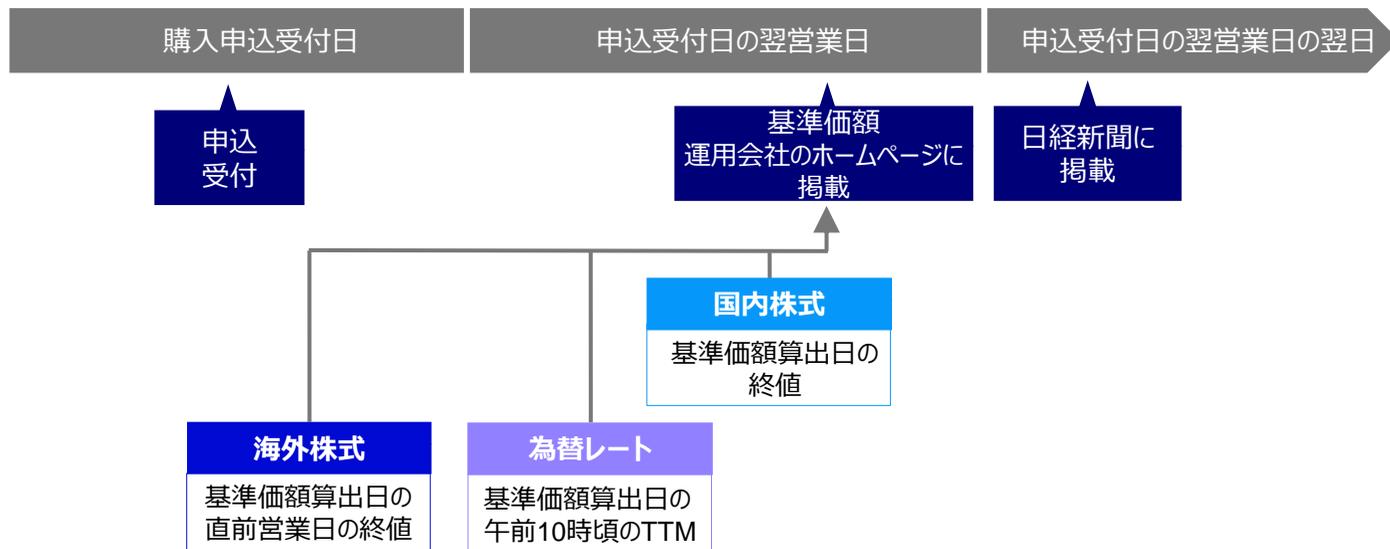
Q10. 基準価額はいつの時点の市場データを基に算出されますか。

- 基準価額は以下のように算出・公表されます。

海外株式： 基準価額算出日の直前営業日の終値を基に算出します。ニューヨーク市場の場合は、現地時間16時（日本時間の翌日6時）*1です。

為替レート： 基準価額算出日の10時頃の為替レート（投信協会公表為替レート）*2を用いて算出します。

国内株式： 基準価額算出日の終値（東京証券取引所は15時）を基に算出します。



上記は基本的な基準価額算出における評価基準のイメージです。上記に当てはまらない場合もあります。

*1 ニューヨーク市場の終値は冬時間を記載しています。3月第2日曜日～11月第1日曜日まで夏時間にて実施され、1時間早まります。

*2 投信協会公表の為替レートは、午前10時頃に発表される、主として三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（TTM = 売り相場と買い相場の平均値）が適用されます。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

Q11. ファンドの運用状況などの最新情報はどこで確認できますか。

- ファンドの運用状況は、月次レポート、月次運用報告動画、半期運用報告動画、運用報告書などをご確認いただけます。インベスコのホームページ「世界のベスト」特設ページに掲載しています。
- また、運用チームが着目する投資アイデア等をご説明する特別レポートや、運用責任者からのメッセージ動画等も随時掲載しています。ぜひご覧ください。

インベスコのホームページ
<https://www.invesco.com/jp/ja>

「世界のベスト」特設ページはこちらから



世界のベスト 特設ページ

各ファンドの詳細ページ

〈動画〉 月次レポートの内容を動画にまとめた運用報告、運用責任者からのメッセージ、運用拠点のご紹介など

〈レポート〉 運用チームが着目する投資テーマや企業例、見通しなど

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

Q12. インベスコについて教えてください。

- インベスコは、米国アトランタを本拠地として、世界20カ国以上で展開する世界有数の規模を誇る独立系資産運用会社です。
- 「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」というパーパス（存在意義）を持ち、長い歴史と伝統を持つ運用会社として、世界の投資家の様々なニーズに応じた多岐にわたる資産運用サービスを提供しています。

インベスコの起源

85年超

前身企業が1935年に設立されて以来、世界有数の独立系運用会社として拡大・成長を続けてきました。

運用資産

222兆円

株式・債券などの伝統的資産からオルタナティブまで網羅した運用戦略を提供しています。^{*1}

上場企業

S&P500

ニューヨーク証券取引所に上場し、S&P500指数の構成銘柄に採用されています。信用格付けはA3（ムーディーズ）を取得しています。^{*2}

運用プロフェッショナル

800名超

グループの総合力を結集して様々な資産運用ニーズに応じた包括的な解決策を提供しています。

日本との関わり

日本進出の先駆け

1983年には、最も早く日本市場に進出した外資系資産運用会社の1社として、東京事務所を開業しました。



アトランタのインベスコ グローバル本社

アトランタは、米国南東部・ジョージア州の州都です。全米有数のビジネス都市であると同時に、豊かな緑に囲まれたベッドタウンを有する職住近接都市でもあります。

環境の良さから優良企業が集まっており、コカ・コーラ・カンパニーやホーム・デポ、デルタ航空などの著名企業がアトランタに本社を構えています。



アトランタの風景。オフィス街を取り囲むように、豊かな緑を有した閑静な住宅街が広がっています。

出所：インベスコ、ブルームバーグ 2023年6月末現在

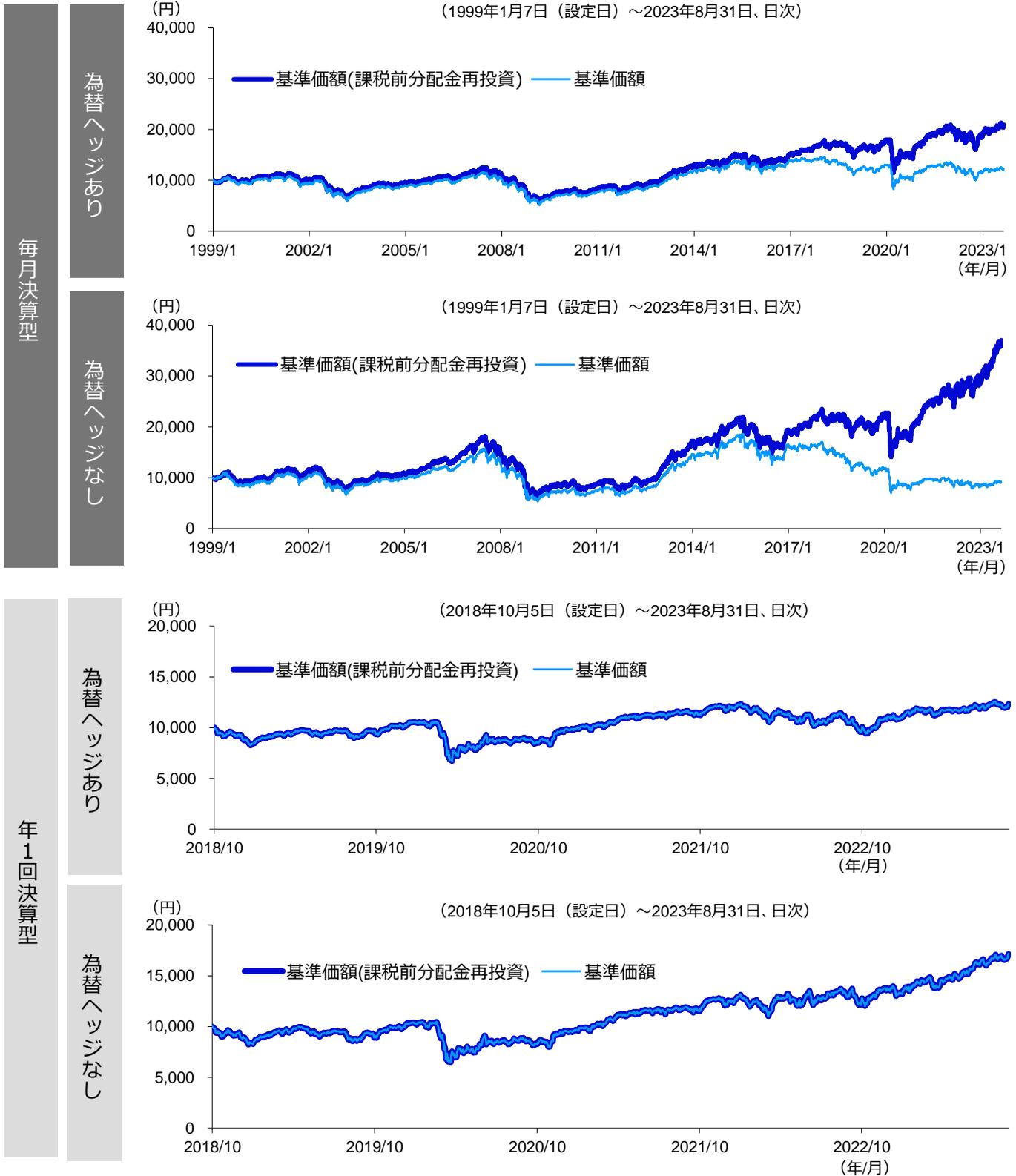
*1 運用資産額はWM/ロイターのレート（1米ドル=144.535円、2023年6月末時点）に基づき円換算 *2 インベスコ・グループの中核企業であるインベスコ・リミテッドが構成銘柄に採用されています。

信用格付けはインベスコ・リミテッドのムーディーズ・インバスターズ・サービスによる評価、直近公表された格付に基づきます。当ファンドの格付ではありません。

上記は個別企業への投資を勧誘・推奨するものではありません。写真はイメージです。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

当ファンドの基準価額の推移



出所：インベスコ

基準価額は、信託報酬控除後のものです。分配方針についての詳細は、後述のファンドの特色をご参照ください。〈為替ヘッジあり〉（奇数月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（奇数月決算型）は2023年9月に設定されたため、2023年8月末の実績はありません。

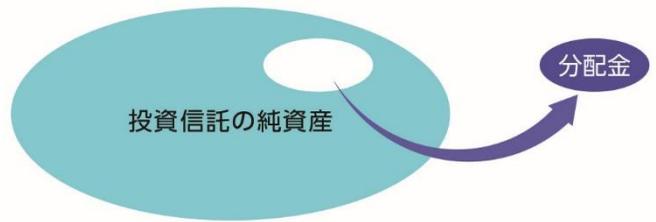
上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

収益分配金に関する留意事項

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

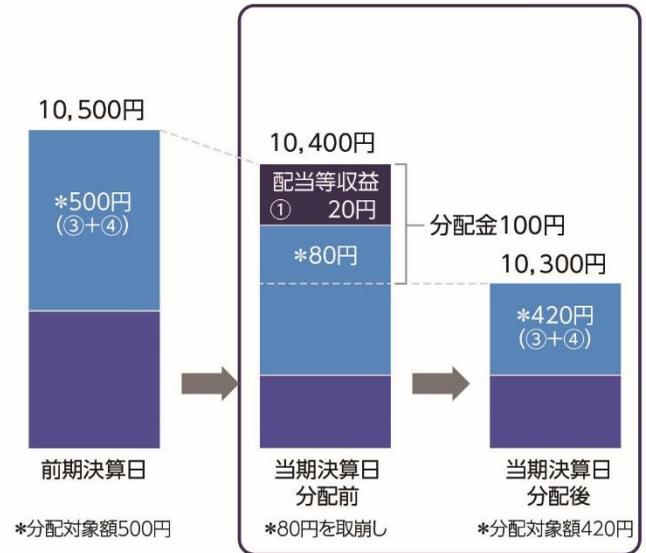
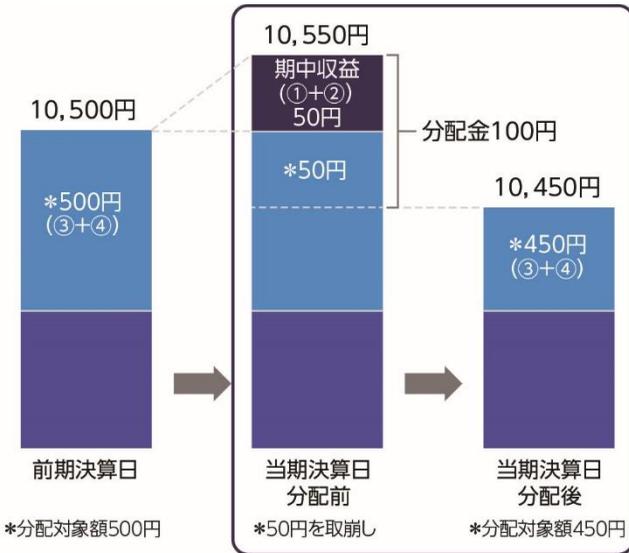


■ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合

■ 前期決算日から基準価額が下落した場合

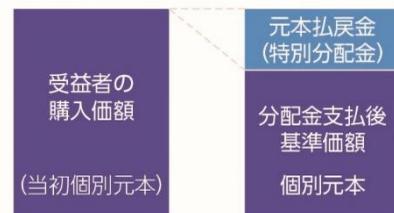


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。 ※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

■ 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク	<p>〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。</p>
信用リスク	<p>発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。 ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。</p>
カントリー・リスク	<p>投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。</p>
為替変動リスク	<p>〈為替ヘッジあり〉為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。 為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。 〈為替ヘッジなし〉為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。 為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。</p>

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンド固有の留意点

- ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

投資信託に関する留意点

- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のペビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入る有価証券等の売買が行われた場合などには、組入る有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

設定・運用は

商号等 : インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

〈ファンドに関する照会先〉

ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。
 お問い合わせダイヤル 03-6447-3100
 【受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです】
 ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「自動けいぞく投資コース」と「一般コース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：無期限（設定日：1999年1月7日） ■ 年1回決算型：無期限（設定日：2018年10月5日） ■ 奇数月決算型：無期限（設定日：2023年9月22日）
決算日	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：毎月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 年1回決算型：毎年12月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ 奇数月決算型：毎年1、3、5、7、9、11月の各23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） <p>* 初回決算日は2023年11月24日の予定です。</p>
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 年1回決算型：年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ 奇数月決算型：年6回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 <p>* 自動けいぞく投資コースでお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。</p>
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。年1回決算型および奇数月決算型は、2024年1月1日以降のNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象となる予定ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める 3.30%（税抜3.00%）以内 の率を乗じて得た額。
信託財産留保額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.30% の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	<p>日々の投資信託財産の純資産総額に年率1.903%（税抜1.73%）を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。
その他の費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ・ 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。 ■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。

※上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2023年10月23日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○	○	○	○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	○	○	
阿波証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第1号	○			○		
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○				○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○	
SMB C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式 社SBI証券、マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			○	○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			○	○	
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○		○	○	○	
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			○	○	
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			○	○	
株式会社十六銀行※ ⁴	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	○	○	○
株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券 株式会社)※ ³	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	○	○	
スルガ銀行株式会社※ ²	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			○		
損保ジャパンD C証券株式会社 (確定拠出年金のみの取り扱い)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○			○		
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○			○	○	
大和証券株式会社※ ³	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○	○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			○	○	
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○		
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○		○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○			○	○	
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○			○	○	
株式会社富山銀行※ ²	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○	○		
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			○	○	
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	○	○	
日本生命保険相互会社 (確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第36号	○			○		
ニューズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第138号	○	○		○	○	
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2023年10月23日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○	○			○	○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○		○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○		○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○	○	
株式会社みずほ銀行※1	登録金融機関 関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	○		
三井証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号	○				○	○	
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号	○		○	○	○	○	
株式会社三菱UFJ銀行※2 (確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○		
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○	○	○		○		
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○		
めぶき証券株式会社※3	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号	○				○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○	
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	○				○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。 ※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。 ※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。 ※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。

【当資料のお取り扱いにおけるご注意】

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。